



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内-2-20 2019. 2. 10  
 自 宅 872-9224 高知市福中町1475-3 No. 596.

# 新食肉セクター 3年後の操業へ

高知市やJA、四不十町以来の28市町村で運営する現在の「県全域食肉セクター」の赤字を理由に、高知市長は、食肉セクター廃止を打ち出していました。

これに対し県は、畜産振興、地産地消、安全安心の食肉提供といった観点から、「公共インフラ」として、「食肉セクター」は、必要不可欠な施設と打ち付けました。

県とJAグループ、食肉事業組合、そして四不十町以来28市町村で出資し、新しい会社を、現在のセンターがある場所に設立することになりました。今年度は、「新食肉セクター整備推進協議会」を立ち上げ、新会社運営のシミュレーションや、地味調査、基本設計を実施。

県内一ヶ所に集約したりすれば、雇用喪失や輸送コスト、セリ業者減による価格下落等々、負の影響を与えたと試算も報告しながら、進めています。

新会社は、これまでの層高だけでなく、算術、内臓処理、分割、セリ、部分肉加工、二次加工、卸売を事業に加え、流通までの一貫した経営を展開するもので、初年度からの黒字スタートの見通しを示しています。

2月県議会に、新会社への出資や実施設計費1億4000万の予算案が提案され予定です。

# 先生のいな「教室」をなくす 私たちの提案が一步前進!!

「中学校の先生の40%が、カローシラインの長時間労働」と、高知県教育委員会への調査結果が出され、衝撃が広がっています。

授業時間が多く、(これは小学校も同じです)教材研究や準備は学校に遅くまで残るか、家に帰っての持ちかえり残業になっている

実態が、先日のNHKのドキュメント特集番組として報道されていました。先生の多忙化と同時に大さびの問題となつてきているのは、臨時教員不足です。本来、採用すべき定数の中に、多くの臨時教員を着任させていて、産休や育休の代替の先生がみつからず、一ヶ月以上

上配置できないといった状況が各地で生じています。本来は、教員数を抜本的に増やすことが必要ですが、当面、産休等の代替として、3年間の任期で正職と同じ待遇で働く教員の採用制度を、12月議会で提案。さうそう、来年度から実施されることになりました。

**無料法律相談の  
おしらせ** 九町日本共産党事務所にて。  
 2月18日(月) 16:00~  
 南 拓人弁護士、下 本市議、中根かおるが  
 対応します。  
 ご予約ください。 090-6280-3860  
 中根ま

**てくてく歩記 (593)**  
 わたし  
 あつという日は2月。立春の日はお天気がこのまま春になれば、楽にならな...と思ったことでした。どうも、そうはいかないようです。  
 先日、旭東部まちづくりの会に出席。月2回、田内会長と有志の皆さん、市役所の職員さんでまちづくりを考えている会です。何と、昨年11月には、200回をかぞえたとのこと。200回記念も含め、来年度は、又ネット化ない防災-地震対策に力をおこし、おりました。継続を!!